

令和5年度 学修・生活アンケート分析結果

【回答率】

54.6% = 有効回答数 532 / 全学生数 975 名 (令和6年3月1日時点)

スマートデザイン学科 = 40.8% = 有効回答数 86 / 学科学生数 211

建築学科 = 59.3% = 有効回答数 182 / 学科学生数 307

総合経営学科 = 36.1% = 有効回答数 165 / 学科学生数 457

【アンケート実施期間】

令和5年12月15日～令和6年3月31日の3か月半

【アンケート結果分析】

◎生活

<①出身課程>

圧倒的に全日制が多いが、留学生および定時制・通信制については15%を占める。学科別にみると建築学科以外は比較的、留学生および定時制・通信制に依存している傾向が見られる。

<②出身学科>

普通科が半分以上を占めるが、専門学科（工業や商業など）の割合も大きい。総合経営学科では比較的留学生や総合学科の割合が多く、幅広い層がいることがわかる

<③④住居・家賃>

自宅生がおおよそ2/3を占め、地元愛知県からの学生が多いことがわかる。一方で一人暮らし層は3割強おり、4～5万円台周辺の家賃相場がほとんど。総合経営学科では一人暮らし層が多いが、これは強化クラブおよび留学生が多いことに起因する。

<⑤⑥通学手段・通学時間>

電車通学が2/3を占めるが、自動車・バイク通学も3割おり、通学時間も60分以内が約6割いるため、比較的近い（愛知県内の三河より）からの通学者が多いことがわかる。総合経営学科ではバイク通学者が増えるのは強化クラブ生が多いことが考えられる。ゆえに、通学時間も総合経営学科が比較的短いことがわかる。

<⑦⑧アルバイト・アルバイト収入>

約8割がアルバイトをしており、月に4万～10万円を稼いでいる。建築学科では教材費用が高いがゆえに、比較的アルバイトしている層が多く、収入が多い印象。

<⑨購入教材費>

2万円台までの層が7割を占める。特に建築学科は教材費がかかっていることがわか

る。

<⑩大学での主な昼食>

学生食堂で購入し食事している層が3割しかおらず、それ以上に、手製弁当やコンビニを利用している学生が多いことがわかる。

◎学修行動

<⑪文献や資料を調べた経験>

6割弱が「調べた」経験があるが、4割以上が「あまり調べていない」「全く調べていない」となり、大学生としては少ない印象。各学科とも学年とともに上昇傾向。

<⑫文献や資料を調べたツール、⑬図書館の利用>

調べるツールはスマートフォンやPCなどの情報端末が大多数を占め、図書館や教科書を利用していないことがわかる。建築学科では比較的図書館や教科書の利用が多いが、リアル教材の利用は少ない印象。図書館の利用は約8割が経験しているが、書籍を閲覧しているわけではなく、学習スペースとして利用していることがわかる。

<⑭⑮⑯授業中の発表、議論、実習・体験の経験>

発表する機会はその学科も学年が上がるたびに増える傾向であるが、建築学科は3年までは比較的少ない。学生同士の議論の機会スマートデザイン学科が最も多く、活発な授業が展開されている様子。体験的授業は造形学部の2学科の方が多く、総合経営学科は5割程度になっている

<⑰補完学習の理解度>

全体としては「できた」の回答は約半数となっているが、5割を切っている造形学部2学科は、改善の余地はある。

<⑱⑲課題に対するPCスキルや提出期間>

課題に対するPCスキルや期間については、「できない」「短かった」回答が少なく、特に問題はない。

<⑳シラバスの把握>

「把握している」6割弱となっており、建築学科では約4割で、改善の余地あり。

◎学習時間

<㉑㉒㉓㉔授業以外の学習の場所・時間・内容>

学内より自宅での時間が多く、長時間になるほど自宅で学習する傾向がある。学科別にみると、スマートデザイン学科では4年生で自宅学習時間が増加する傾向があるが、建築学科ではいずれも3年生が学習時間のピークが来る。総合経営学科では学年があがるごとに学習時間が増加する。授業で出された課題や宿題に費やす学習時間が約9割を占め、予習・復習の学習時間が少ないことがわかる。

<㉕㉖㉗㉘授業以外の学習サポート>

自己学習に最もニーズがあるのはパソコンやプリンタなどの設備で半数以上を占める次いで学習スペースや先輩や友人からのアドバイスも約半数が必要としている。